

視聴覚教育

NO. 227

発行日 8. 11. 1
発行 岡崎市AVL
編集 委員会
編 報 委 員 会

視聴覚用語

『タイトル』
映像に後から文字や絵柄を挿入する装置。作品の最初に入れるタイトルや途中で補足説明をするスーパード、最後にスタッフの名前を載せるエンドロールなどを作ることができる。

II 視聴覚教育あれこれ II

TV会議システム

利用実践授業を実施!

マルチメディア開発委員会

平成八年十一月一日(金)に、竜美丘小学校六年二組(指導者 高嶽 利行教諭)において、TV会議システム利用実践授業『私たちの生活と防災(特別活動)』を行う。

昨年度、美川中学校で行われた同様の授業の発展型である。今年度はCATV回線の利用に加えて、簡素化を目指してコンピュータを介させたシステムを構築している。

授業では、岡崎市消防署指令室と消防署出動待機場所、そして竜美丘小学校の教室(2ヶ所)の四地点を結ぶ。児童がTV会議システムを利用して聞き取り調査をする中で、火災に対する自分たちの考えを発表したり、疑問を出して解決させるといった学習を進める。また、それぞれの中継場所には、パソコン、ビデオプリンターやデジタルカメラ等を用意し、必要に応じて資料等を相互に交換できるように、マルチメディア環境を整えた。

TV会議システムの実用化に向けて、さらに一歩踏み込んだ実験となる。



ライブラリー移転・再出発

教育委員会指導主事 山田 賛平

昭和六十一年に市役所八階から太陽の城に移転して、十年と半年たちました。慣れ親しんだ「太陽の城一階」ですが、この十一月からは情報ネットワークセンター三階・岡崎市視聴覚ライブラリー」として、再出発することになります。

九月から移転のための倉庫の整理作業に入りました。よくもこんなに物があるものだ、と驚くばかりで、次から次へと湧くように品物が出て来ました。十年間いれば実によくたまる訳ですが、それだけではなく、四十年間の蓄積を改めて実感した次第です。引越越し業者との打合せのときに、「こんなにあるんですか。」と半ば呆れ顔での声が印象に残っています。機器などの多さに加えて、何よりも記録テープの膨大さにびっくりしていました。

今度は最新の設備を有する建物の一角を占めることになりました。当ライブラリーも、新し

い時代に向けて十分な設備を備え、このセンターの中で再出発します。四十年以上にわたるライブラリーの実績を生かした運営を進めていきます。ライブラリーが取り組む業務は、機器や技術の進歩に伴ってますます多様化・ハイテク化しています。急激なメディア環境の変化に際して、先人たちがそうであったように、いつも大事にすることは、この三つです。

- (1) 新しい機器や技術への積極性
- (2) ハード、ソフト両面のバランス
- (3) 視聴覚教育を担う人材の育成

最新の技術環境に移転するライブラリーは、否応無しに積極性をもたなければなりません。だからこそ、今まで以上にソフト供給や人材育成に力を注いでいくことになりました。これからのライブラリーの責務の大きさを感じています。



十五分の真剣勝負

常磐東小 浅井佐紀子

十二時三十分。各教室のスピーカーから、ロッキーのテーマが流れ出す。

これが、本校のお昼の放送のオープニング曲である。毎日、十五分間の短い放送であるが、その内容は、盛りだくさんである。最初の五分は、今日の献立の発表で、残りの十五分は、曜日ごとに内容が決まっている。

月曜日 自作ビデオ

火曜日 録画ビデオ

水曜日 企画放送

木曜日 委員会報告・音楽鑑賞

金曜日 今週のニュース・今週の誕生日紹介

中でも、水曜の企画放送は、放送委員の腕の見せどころである。他の曜日は、視聴者である全校児童は、受け身のお昼の放送を見ているだけである。そこで、全校が何らかの形で参加しているようなお昼の放送にしたいという思いから、水曜日の企画放送が始まった。

十人の放送委員を二つのグループに分け、交代で内容を企画し運営している。

一年生から六年生までが楽しめる番組の企画を立てることは、とても難しかった。十五分程度の短い時間で終わらなければいけないという制約もあった。そんな中で委員の子供たちからは、リクエスト大会、じゃんけん大会、いろん



なアンケート大会、ミニゲーム大会などの案が出され、実行してきた。

今までの企画の中には、一部の児童に受けるだけという失敗案もあった。しかし、どの委員の子供も、楽しいお昼の放送にしたいという思いは、同じである。その思いを大切にし、これからがんばっていききたい。

II レッツトライイ

音声資料の有効活用

テープレコーダー

最近ではCDやMDなどが主流になりつつある音声機器ですが、授業で児童生徒が主体的に活用するとすると、手軽さからもやはりテープレコーダーの役割の大きさを見逃すわけにはいきません。

例えば、国語の物語文や文学的文章を中心とした音読や朗読の授業では、一人一人の声をカセットテープに録音します。そして、後で自分の音読や朗読を聞きながら改善点を見出したり、次への目標を立てることができず。さらに、テープに毎時間続けて録音しておけば、自分の音読や朗読に対する成長の変化を感じたり、自己評価することもできると思います。

このように、テープレコーダーは、自分の持つ「音や声」の成長を感じ取り、次への飛躍につながる機器として利用できると思います。

(本宿小 日置 正敏)

ライブラリーだより

☆視聴覚ライブラリー移転について

十一月にオープンする「岡崎市情報ネットワークセンター」三階に、岡崎市視聴覚ライブラリーが移転しました。移転に伴って、自作ビデオなどのダビングサービスや視聴覚機器や教材の貸し出しなどの業務を停止しております。停止期間中、大変ご迷惑をおかけしておりますが、十一月十一日より、平常業務の再開をします。ご利用ください。

なお、自家用車でお越しの際の駐車場については、市役所駐車場もしくは福祉会館駐車場をご利用ください。

☆小学校修学旅行用教材の巡回

小学校の修学旅行用映画・スライド・ビデオ教材の巡回をしています。事前指導にご活用ください。

Aブロック

- 「学習の旅：奈良」(16ミリ) 20分
- 「修学旅行事前研究：京都」(16ミリ) 30分
- 「聖武天皇と奈良の大仏」(16ミリ) 20分
- 「京都・古都の美」(スライド) 80コマ
- 「奈良・平城京はいま」(ビデオ) 15分
- 「京都・歴史に生きる」(ビデオ) 15分

Bブロック

- 「学習の旅：京都」(16ミリ) 20分
- 「修学旅行事前研究：奈良」(16ミリ) 30分
- 「貴族の世の中」(16ミリ) 20分
- 「奈良・古寺の旅」(スライド) 60コマ
- 「奈良・古代のなぞ」(ビデオ) 15分
- 「京都・暮らしの四季」(ビデオ) 15分